

① 2つの新たな拠点整備

下妻市のシンボル「砂沼」の南側に「エントランス（入口施設）」を設置し、観光の拠点を整備します。見える「砂沼」を演出することで、市民や観光客などを誘導し、交流人口の増により市街地の活性化を図ります。

また、市街地内の遊休地を活用した「広場」の開設により、空洞化による遊休地を解消し、市街地内外から交流人口を呼び込むことで、地域の活性化を図ります。

② 安全・安心で魅力ある移動空間の確保

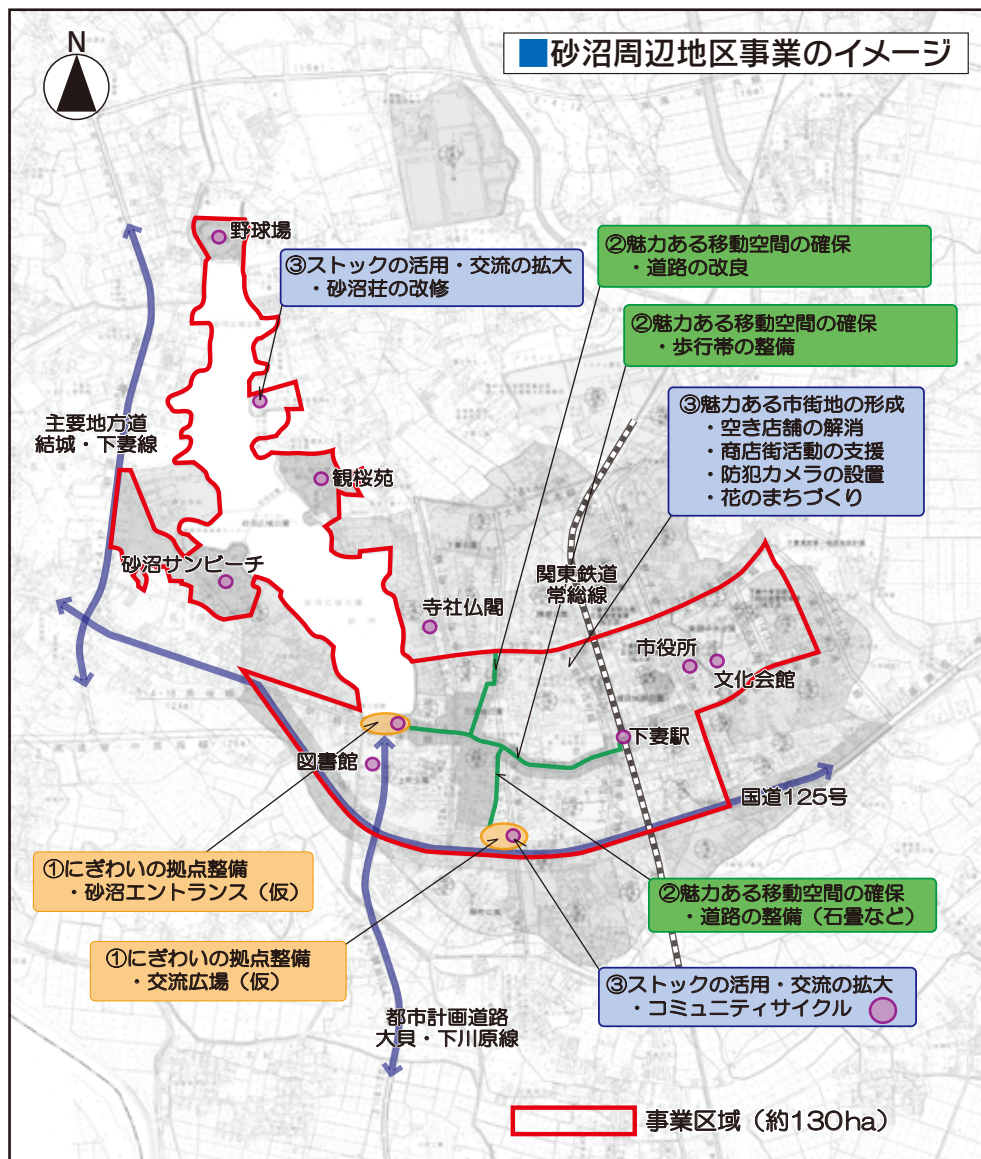
関東鉄道常総線「下妻駅」と新たに整備する2つの拠点を結ぶ既存の道路等について、道路改良工事やカラー舗装による歩行帯の設置等により、安全な移動空間の確保を図ります。

また、一部の道路については石畳を敷き、魅力ある空間を演出します。

③ 既存ストックの活用、魅力ある市街地形成

既存ストック（整備済の施設・建築物等）の活用や、空き店舗への出店補助、商店街活動支援補助、花のまちづくりなどのソフト事業を行い、地域住民と連携して魅力ある市街地形成を図ります。

なお、空き店舗への出店補助は平成25年10月から、商店街活動支援補助は平成26年3月から募集を開始しています。



特集2 市街地再生から動き出す 下妻市のにぎわいのある街づくり



市民アンケート等を反映して作成された「砂沼エントランス」(仮)の整備イメージ

市では、空洞化が見受けられる中心市街地において、地域の活性化及び市街地再生によるにぎわいの街づくりを目指して、下妻市のシンボル「砂沼」と関東鉄道常総線「下妻駅」周辺の市街地を含む区域を「砂沼周辺地区」として、見える「砂沼」の演出とともに、にぎわいを創り出すための拠点整備などを含む「都市再生整備計画事業」に取り組んでいます。

活力を再び取り戻すために

下妻市の中心市街地は、郊外への店舗の出店、商店街の空洞化、消費者の買物動向の変化など、社会・経済のさまざまな要因により、かつてのにぎわいを失っている状況です。現在、全国的な少子高齢化や人口減少などの社会潮流の中、このまま対策を講じなかつた場合には、市街地がますます衰退する可能性があります。

また、事業効果促進のために行われた市民アンケートでも、中心市街地の商店街のにぎわいに関する不満足は高く、市街地の活性化が求められています。

これらを踏まえ、砂沼周辺地区の活性化事業では、交流人口を増やし、街なかを市民や来訪者が行き交うことでのにぎわいを取り戻せるよう、新たな拠点の整備や道路整備な

どのハード事業と、空き店舗解消などのソフト事業を一体的に進めていきます。

事業の概要

- ・事業期間 平成25年2月～29年3月
- ・総事業費 13億3,200万円
- ・事業に係る補助金等 社会資本整備総合交付金(国庫補助)により総事業費の4割が補助されるほか、地方交付税において元利償還金の7割が算入される合併特例債事業により整備します。

市民協働のことで進めていきます

本事業を推進するにあたり、市民、商店会、市内通学の高校生に対するアンケートを実施したほか、商工会やまちづくり関係団体へのインタビューを行い、市民の皆さま

街なかの活性化を進めるにあたって



増田 勝氏

茨城県都市計画協会まちづくりアドバイザーとして、三道地区のワークショップなどの運営にあたる。工学博士、技術士、東京家政学院大学客員教授。

三道地区では、道路整備により生じる空地の活用に向け、事業者や住民の方々による地区懇談会を開催してきました。地区の「歴史や現状」「こうあって欲しい」等について、夜の市役所会議室に集まりワイワイと楽しくやってきました。

結果、「水・みどりや歴史」「子どもや若者、お年寄り」が元気にふれあう場、「交流・発信の場」等をキーワードに特色あるポケットパークの提案をまとめることができました。今後、市での技術的検討等を踏まえ整備されますが、多くの方々の積極的に創造的な活用が望まれます。

今、多くの市町村で街なかの活性化が叫ばれています。しかし中々…というのが現状のようです。まずは「豊か」に住み続ける場としての街な

かを皆でどう創っていくのか。私は、そのための「王道」はなく、そこに住む人々が、行政や多くの団体、企業と協働して一つひとつ愛情を持って「こと」に当たる。そのことが「豊か」な街づくり、暮らしづくりに繋がるのではと考えています。今回の三道地区での試みが、イキイキ、ワクワクの下妻市街なかつくりのきっかけになればと願っています。



ポケットパーク整備を検討する三道地区のワークショップ

の意見や要望などが事業に反映できるよう進めています。また、地域住民と行政がともに知恵を出し合うワークショップ形式により、計画を具体化するなどの手法も取り入れています。「下妻市協働のまちづくり市民会議」においてもワークショップを行い、さまざまな意見やアイデアが出されています。

この事業が、中心市街地のにぎわいを取り戻すための手がかりとして、今後も市民の皆さんや商店会などの関係団体と行政が一体となって盛り上げていくことが重要です。

砂沼周辺地区都市再生整備計画事業の内容

事業等の名称	事業概要
拠点整備	砂沼エントランス(仮)、交流広場(仮)
道路整備等	道路改良、石畳、カラー舗装など
緑化施設等	花壇の整備など
ソフト事業	空き店舗解消、商店街活動支援など
その他	砂沼荘改修など